

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

10月号

華いっぱい 夢いっぱい つづきのある学校

令和3年9月30日

新しい学び

校長 田淵 恵子



「学校が楽しい」「みんな笑顔」「友達が優しい」「友達がいっぱいいて楽しい」「先生が優しく授業が分かりやすい」「一人一人が助け合い安心できる」「目標に向かって一生懸命がんばっている」「みんなが仲よく協力ができている」「自然や生き物がいっぱい」「給食がおいしい」など

学校は今、子どもたちからの「つづきの丘小さいね♡」の言葉で溢れています。学校保健委員会が進めている「あたたかい言葉と心」プロジェクト第1弾として学校の良さを募集し、カードに書いてもらいました。集めたカードは、中央階段の「つづきの丘小さいね♡の木」に掲示してあります。子どもたちは、登下校や休み時間に立ち止まってはカードを読み、共感したり新たに気付いたりしています。子どもの目線で学校の良さを感じ、安心できる場所として捉えていることに嬉しくなります。今後も「つづきの丘小さいね♡」がもっと増えるように、大切な一日一日が価値ある学びの場となり、保護者や地域の方にも愛される学校を創ってまいります。

さて、9月から始まった分散登校は緊急事態宣言の解除を受け、10月4日から通常登校に戻ります。保護者の皆様には日々の検温、健康観察、オンラインの取組等、ご協力をいただき、ありがとうございます。新規のコロナ感染者は減少傾向にあるとはいえ、未だ予断を許さない状況です。学校では感染防止対策を徹底しながら、適切な教育活動を行ってまいります。

分散登校中、GIGAスクールが一気に加速化しました。各クラスではオンライン授業の実施に向けて、段階的に取り組みました。9月初旬、タブレットを持ち帰り、「新しい学び」がスタートしました。クラスではタブレットの扱いに慣れながら、オンラインでの朝の会に挑戦しました。自宅にいる友達の顔が画面に映ると、互いに手を振り挨拶をしていました。顔が見え、声が聞けると嬉しいものです。思わず笑みがこぼれます。帰りの会も実施しました。一日の初めと終わりにクラスの児童と顔を合わせることで、自宅にいる子どもたちは生活のリズムを崩すことなく、寂しい思いを軽減することができたようです。9月中旬、いよいよオンライン授業に挑戦です。担任や子どもたちは初めての経験で少々緊張気味でしたが、画像を見て質問のやりとりをし、双方向の学習を成立させていました。子どもたちは新しい学習方法に夢中となり、情報を聞きもらさないよう集中していました。担任によると、「画面が近くにあるのでやっていることが分かりやすく、普段より集中している。」「挙手機能を使ってよく発言し、全員が参加しやすい。」と良さをあげていました。家庭では「自己管理能力が付いた。」との効果を伺うこともできました。オンラインの時間に合わせて生活し、宿題はタブレットで提出です。自分でスケジュール管理をしながら生活ができたようです。一方、「子どもが分からないときに質問が難しい。」「チャット機能で遊んでしまう。」などの課題も見えてきました。

オンラインの学習はスタートしたばかりで、試行錯誤しながら進めています。授業におけるタブレットの効果的な利活用は、研修等を重ねながら高めていきます。情報モラルについては、新学習指導要領に「情報社会で適正な活動を行うための元になる考え方と態度」を身に付けさせていくよう示されています。「自分の心や体を守る」「相手を大切にする」「情報の危険性を理解する」など、学習活動を通して指導していきます。

新しい教育環境で、より生き生きと、より即時的に学習を展開することができるオンライン学習です。子どもたちの安全で安心な「新しい学び」を保証する上で、ご家庭でもタブレットの使い方について話題にいただき、学校と家庭が連携しながら子どもの学びを支えていきましょう。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。